

下水道総合計画見直し及び
下水道事業経営の在り方等検討委員会
議事要録

内容 委嘱式および第1回

日時 令和4年2月14日(月)

午後7時から午後9時まで

場所 武蔵野商工会館 4階 市民会議室

出席委員7名 欠席1名

【1】委嘱式

1. 委嘱状交付
2. 市長挨拶
3. 委員自己紹介

委嘱式後、市長退席

【2】第1回委員会

1. <次第1>委員長選出

委員の互選により長岡裕委員を委員長に選任

2. <次第2>副委員長選出

委員の互選により鶴川正樹委員を副委員長に選任

3. <次第3>委員会の運営等について

- ・委員会は原則公開とし、傍聴を認める。
- ・傍聴者にはアンケートを実施し、いただいた意見は委員会で共有するが、原則個別に回答は行わない。
- ・議事録は、委員の意見の趣旨が損なわれない程度に要約し、委員が内容を確認した後、ホームページで公開する。
- ・議事録への発言者の表記は、委員長、A委員、B委員・・・とする。

4. <次第4>委員会での検討事項及び進め方について

○事務局 **資料3**についての説明

- ・これまでの経過と今回の目的・変更点について
- ・下水道をとりまく社会情勢の主な変化について
- ・検討のスケジュールについて

[質疑]

○A委員 a)東京都の流域別下水道整備総合計画（以下、「流送計画」という。）に基づく汚水送付先の変更スケジュールと施設規模は。

b)令和2年度に実施した包括的民間委託に関する調査とは、どのような検討か。

○事務局 [a]に対する回答]野川水再生センター（仮称）（以下、「野川センター」という。）を建設し、現在、落合水再生センターへ送っている汚水の一部を野川センターへ切り替える計画がある。しかし、現状、野川センター建設の見込みが立っていない。また、切り替え後に、落合水再生センターへ送っている別の汚水を森ヶ崎水再生センターへ送る計画もある。いずれの計画もスケジュールは明確に決まっていない。流総計画の計画期間が令和6年度までなので、令和5年度頃までに改訂の動きを注視していく必要がある。

[b]に対する回答]資料4-⑥についての説明

対象施設は管路施設とし、維持管理やストックマネジメント計画に関する部分を中心に考えている。試行的導入として4年間を想定している。今後は令和4年度に仕様等を検討し、令和5年度に事業者を決定し、令和6年度に導入するスケジュールである。

○委員長 総合計画の見直し期間を8年にするとあるが、8年経つと社会情勢が随分変化してしまうのではないか。

○事務局 8年を基本とするが、社会情勢の大きな変化のタイミングで必要に応じて改訂することも想定している。

5. <次第5>現計画期間の事業とその評価について

○事務局 資料4及び資料4-①から⑥についての説明

- ・下水道施設のストックマネジメントに対する評価（案）
- ・浸水対策、水環境の保全・創出に対する評価（案）
- ・広域的な汚水処理に対する評価（案）
- ・下水道臭気対策に対する評価（案）
- ・啓発の推進に対する評価（案）
- ・健全な経営、執行体制、公営企業会計の運用に対する評価（案）

[質疑]

○A委員 a)石神井川雨水幹線の事業費は、具体的にどのような部分が増額になったのか。

b)区部流入及び流域下水道の維持管理負担金が増加している要因は何か。

○事務局 [a]に対する回答]概算事業費であったことや、契約不調により見積金額を採用した

経緯等が事業費の増額要因である。

[b]に対する回答]令和元年度の消費税増税のほか、大きな要因は、近年の降雨量に増加に伴う汚水処理量の増加である。

- B委員 基金の効果的な活用で、実績値が計画値を下回った要因はなにか。
- 事務局 令和元年度には消費税の10%への引き上げ、令和2年度には下水道使用料を3.5%増とする改定を行っているが、令和2年度の使用料収入は令和元年度を下回っている。
- B委員 有収水量は増えなかったのか。
- 事務局 在宅勤務やテレワークが進んだことで有収水量自体は増えているが、基本料金の高い大口利用者の有収水量が減ったことが減収の要因であると考えている。

- C委員 本日は、資料に示された評価（案）を議論するという理解でよいか。
- 事務局 そうである。

- C委員 a)管路施設の修繕・改築については、今後順調に進めば、支出が増加するという理解でよいか。
b)市立小・中学校への雨水貯留浸透施設設置について、敷地全体としての対策量は確保できていないが、目標量に対し、どのくらい足りていないのか。
c)流出係数の目標は0.4と設定しているが、将来的にも達成が難しい見込みとなっている。近年の気候変動なども考慮し、より現実的な目標として東京都豪雨対策基本方針の目標である流域対策量10mm/hrを指標にする考えはあり得るのか。
d)武蔵野市下水道総合計画2018（以下、「総合計画2018」）P.7に汚水処理区と送水先の図が載っているが、合流式の排水区における、雨水の排水とは何か。
- 事務局 [a]に対する回答]資料4-①の説明
図4は、平成23年度に策定の「長寿命化計画」の年間3億円の投資が総合計画2018に反映されている。令和2年に策定した「ストックマネジメント計画」では、3億、5億、7億という形で投資により、管路施設の健全な状態を保つことができると考えている。
- 委員長 新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）の影響により当初計画通

り進められなかったのか。

○事務局 令和2年度はコロナによる使用料収入減など財政上の面から、改築工事については、令和3年度は実施しないこととした。

○A委員 [資料4]の③の実施状況には、[資料4-①]の図4と図5のグラフのことが混同して記載されているのではないか。[資料4]は、事業評価なので、図4に対しての評価を行い、図5のように増加していくということは別で整理する必要があるのではないか。

○事務局 承知した。[資料4-①]の図4と図5については、別にして評価を行えるよう資料を修正する。

[b]に対する回答]市立小・中学校の雨水貯留浸透施設は、既存の学校施設の配管等がある中で、グラウンドに貯留浸透施設を設置する工事のため、敷地全体量を対象とすることは物理的に難しい。現状の達成率は、6割程度である。

[c]に対する回答]流出係数0.4は、昭和20年代の水環境に戻すという目標設定である。現在は約0.5で、目標の達成には時間を要する状況である。雨水浸透については、東京都が平成26年度に策定した「豪雨対策基本方針」において、時間10mm分の降雨に対応できるよう目指すという目標値もある。本市の達成率は、排水区により異なり約60～90%となっている。まずは、東京都の指針の目標値を目指しつつ、流出係数0.4の目標の進捗も見ていく必要があり、現時点で変更することは考えていない。

○C委員 雨水浸透施設設置をPRする個別訪問などは、達成率が低い排水区を重点的にやっているのか。

○事務局 浸水発生地域やくぼ地の地形となる地域を優先している。平成28年度から、雨水浸透施設のPRする会計年度任用職員を雇って助成を推進している。優先地域については、一定PRは終えているが、今後他の地域に展開しつつ、より効果的な方法を検討する必要がある。

[d]に対する回答]合流式下水道は、河川の手前で「雨水吐き」という施設を設置している。雨が降ったときに、下水道管内の水位が上がると、下水が雨水吐き施設にある堰を超え、“汚水混じりの雨水”が河川に放流される。堰を超えずに処理場へ流れる部分を“汚水”として扱う。

○D委員 臭気対策については、令和元年度に完了となっている。令和2年度から取り組んで

いるLINE通報システムにより、今後、助成が見込まれている場所が想定されるのか。

○事務局 現状では、助成する案件はないが、LINE通報システムによる取り組みは続けていく。

○委員長 臭気の苦情はなくなったのか。

○事務局 全くなくなった訳ではない。吉祥寺駅周辺では、100ppmを超える硫化水素が発生する建物が約46件あり、吉祥寺活性化協議会と市で連携して臭気対策に取り組んできた。その結果、吉祥寺駅周辺では一定の目途が立ったとしている。これまでは、吉祥寺駅周辺の商業地域に特化していたため、今後は市内で水平展開していくことも必要になってくる。助成のほか、適切な維持管理をすればビルピットによる臭気は発生しないことなどの周知も実施している。

○委員長 事業評価（案）については、一部、資料の修正はあるが、おおむね良いということにする。

6. <次第6>現計画期間の財務評価について

○事務局 **資料5**の説明

- ・歳入（収入）について
- ・歳出（支出）について

[質疑]

○B委員 全体的に、管渠の再構築をしなかったことで、補助金も少なく、起債も少なく済んだという印象を受ける。再構築を先送りにしたことの影響をどのように考えるのか。

○事務局 令和2年度は、コロナによる影響で先送りとしたが、点検・調査等により安全性を確保した上で判断している。令和4年度は、ストックマネジメント計画の見直しを行う予定のため、令和2、3年度で蓄積した点検・調査の結果を踏まえた健全度予測をし、新たな収支計画に見込んでいく。

○B委員 **資料5**の評価（案）としては、おおむね予定通りと見えるが、工事を先送りしたという点を書いた方が良いのでは。

○事務局 評価（案）に説明内容を要約して記載する。

- 委員長 財務評価（案）もこの場で認めるということか。
- 事務局 本日、ご意見をいただいているので、修正したものを次回の委員会でお諮りする。
- 委員長 本日意見があった部分は、次回の委員会で確認することとする。

6. <次第7>その他

- 事務局 今後の委員会予定について確認